

太陽ヶ丘運動公園を訪ねる (第73回くらわん会 2002/07/02)

佐々山世話人のリードで準備運動をした後、いざ出発、名木川沿いに山手に進む。JR奈良線を越えると新しい住宅地が開ける。この辺りは以前松茸も取れる丘陵地であったが、近年ベッドタウンとなったところである。名木川沿いの道は遊歩道として整備されており、木陰も多いが、やはり梅雨で湿度が高く、全員汗を拭き拭き進む。

住宅の庭や玄関には、良く手入れされた色とりどりの草花が植えられ目を楽しませてくれる。程なく植物公園が見えてくる。宇治市立植物公園に到着、休憩をとる。山の斜面を利用して作られた壁画風花壇が有名である。陸橋上にバランス良く配置された花が美しい。

しばしの休憩の後、植物公園の後ろの尾根を登ると、本日の目的地、京都府立「山城総合運動公園」に入る。この公園の広さはなんと甲子園球場の25倍、陸上競技場、野球場プールなどが配置され、芝生と木々のバランスのとれた、みどり豊かな総合運動公園となっている。

この地は、もともと「折居官山」と呼ばれる国有林であったが、昭和55年に着工され、昭和63年の京都国体の会場となったこともあって急速に整備された。日本の都市公園100選にも選ばれている。

家族で遊べる施設もあり、休日には賑わうところですが、今日は平日とあって人影もまばら、管理棟付近は私達の貸切りに近い状態で、木陰の芝生で、ベンチで、思い思いに弁当を広げました。

近鉄大久保駅近くの巨椋神社に百三十一名が集合



名木川沿いの道は遊歩道として整備されており木陰も多い



植物公園は山の斜面を利用して作られた壁画風花壇が有名、陸橋上にバランス良く配置された花が美しい



色とりどりの花に彩られた植物公園の陸橋近くで小休止

運動公園とはいえ水車や池も配置され家族で楽しめる公園





昼食場所まであと一息、公園内の最後の急な坂を登る



広さは甲子園球場の25倍、陸上競技場、野球場、プールなどが配置、芝生と木々のみどり豊かな総合運動公園で昼食



昼食を終え再集合、長川リーダーから整列歩行の注意事項を受け出発



神社としては珍しい白山神社の山門をくぐる

帰りは、歩道のない危険なダンプ街道を、3班に分かれる整列歩行で安全に注意しながら進む。街道を降りて村落に入ると、白山神社への参道がある。神社の横から鬱蒼と茂る東海自然歩道の「紅葉谷」を足元に注意しながら歩を進めました。うぐいす、めじろのさえずりも聞こえる中、マイナスイオンを胸いっぱい吸って自然を満喫しました。

谷を抜けると視界が広がり宇治川に出る。天ヶ瀬吊橋で宇治川を渡り、右岸の遊歩道をゆったりと下りました。

京阪宇治駅にほど近い紫式部のモニュメント前で解散。宇治の地を離れがたく、余韻を楽しむグループもありました。

富田朝己記

ダンプがやっとな擦れ違える危険な道には歩道がない、安全のため整列歩行を守る



鬱蒼と茂る「紅葉谷」を足元に注意しながら歩を進める。鳥のさえずり、マイナスイオンを吸って自然を満喫





町から少し入ったただけなのに、鬱蒼と茂る東海自然歩道、紅葉谷は秋の季節にも訪れたいくなる道

紅葉谷の休憩所に百三十名も入ると谷にこぼれそう



紅葉谷を抜け、宇治川左岸に出ると一気にに視界が広がる。釣り人の姿も

左岸を天瀬吊り橋まで少しだけ上る



天瀬吊り橋を渡って右岸へ

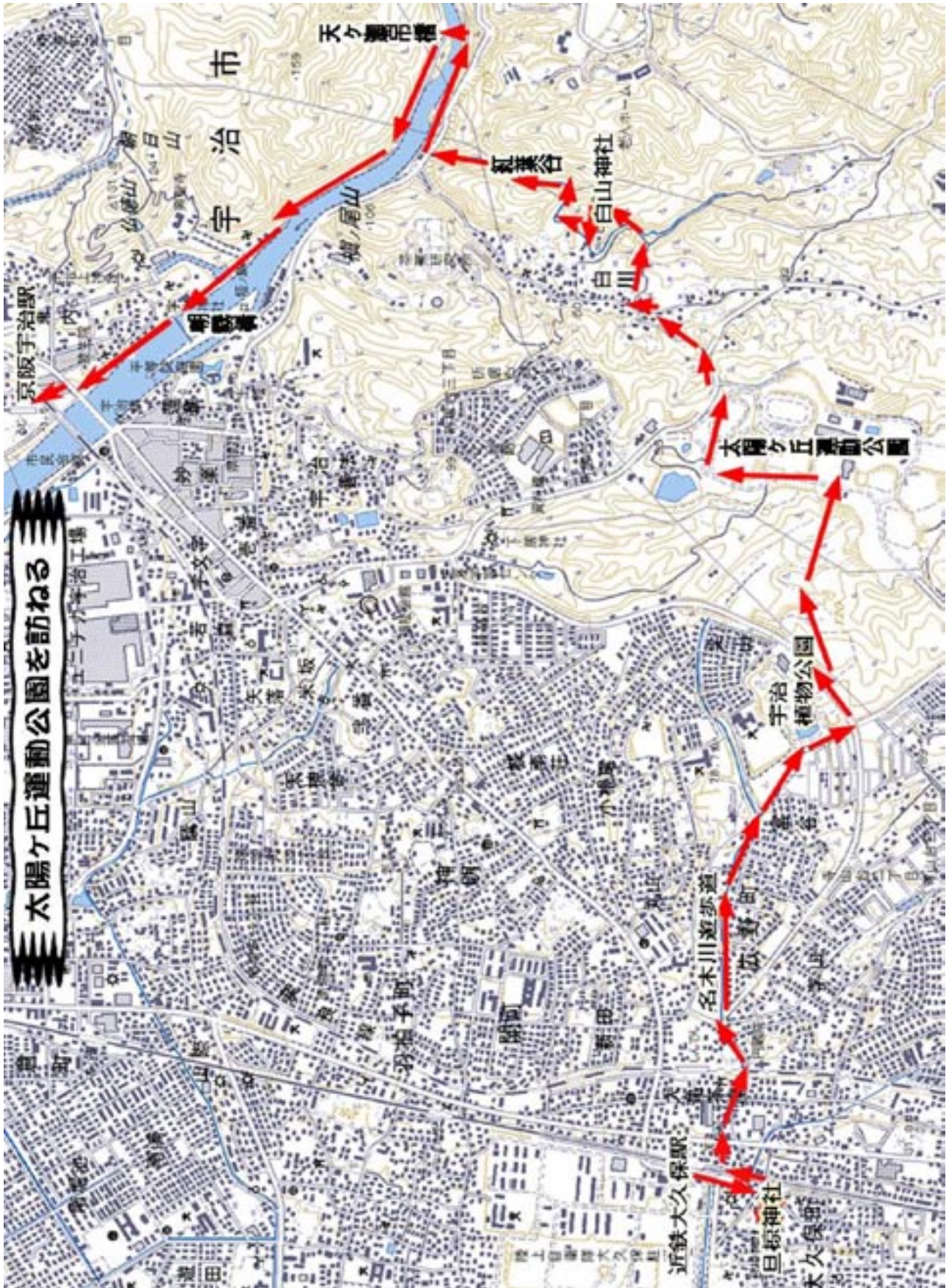
右岸の遊歩道をゆったりと下ると亀石楼などの料理旅館が並んでいる



鶴飼いの船は、夜の営業に備えて塔の島そばで一休み

京阪宇治駅に程近い朝霧橋たもとの宇治十帖モニュメント前で解散





<行程>

近鉄大久保駅⇒日棕神社⇒名木川遊歩道⇒宇治市植物公園⇒太陽ヶ丘運動公園⇒白山神社⇒紅葉谷⇒天瀬吊り橋⇒宇治川右岸道⇒京阪宇治駅

約 8km 2002年 07月 02日 (火) 131名参加